2025年　神戸市延べ宿泊者数【確定値】

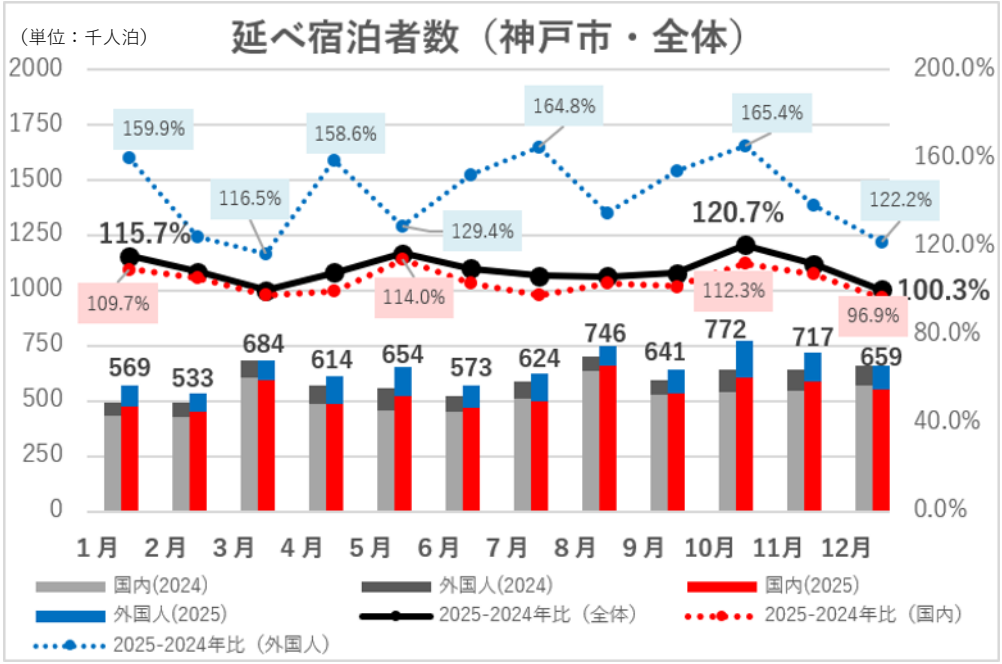
神戸

神戸観光局

・ 2025年1～12月　神戸市全体　延べ宿泊者数　拡大推計値・確定

全体	778.7万人泊（前年比：109.1%）	※2023年年間：681.5万人 ※2024年年間：713.6万人
国内	643.4万人泊（前年比：103.9%）	※2023年年間：620.0万人 ※2024年年間：619.2万人
外国人	135.3万人泊（前年比：143.3%）	※2023年年間： 61.5万人 ※2024年年間： 94.5万人

出典： 観光庁「宿泊旅行統計調査」令和5~7年各月確定値調査個票を基に神戸観光局で拡大推計値を独自試算



出典：2024～2025年　観光庁「宿泊旅行統計調査」令和6～7年確定値
調査個票を基に神戸観光局で拡大推計値を独自試算

（参考）神戸観光局　KPI

延べ宿泊者数		2025年		2026年
KPI	全体	690.0万人	達成率：**112.9%**	795.0万人
	インバウンド	100.0万人	達成率：**135.3%**	160.0万人
実績値	全体	778.7万人		
	インバウンド	135.3万人		

- 2025年年間で778.7万人泊と過去最高の人泊数で確定。
（2025年神戸観光局KPI　延べ宿泊者数690万人泊　達成率:約113%）
- 国内・外国人ともに前年の人泊数を上回り過去最高を記録。
- 特に、インバウンドは神戸空港の国際化も影響し、外国人延べ宿泊者数が大きく増加。神戸観光局　2025年KPI「外国人延べ宿泊者数100万人」を大きく上回った。
- 国内においても、2025年は大阪・関西万博の影響もあり、全国的に減少傾向の中、前年を上回って推移した。
- 国籍別は1位：中国、2位：台湾、３位：韓国。
東アジア圏で全体の68.8%を占め、前年比で3.5pt増加した。

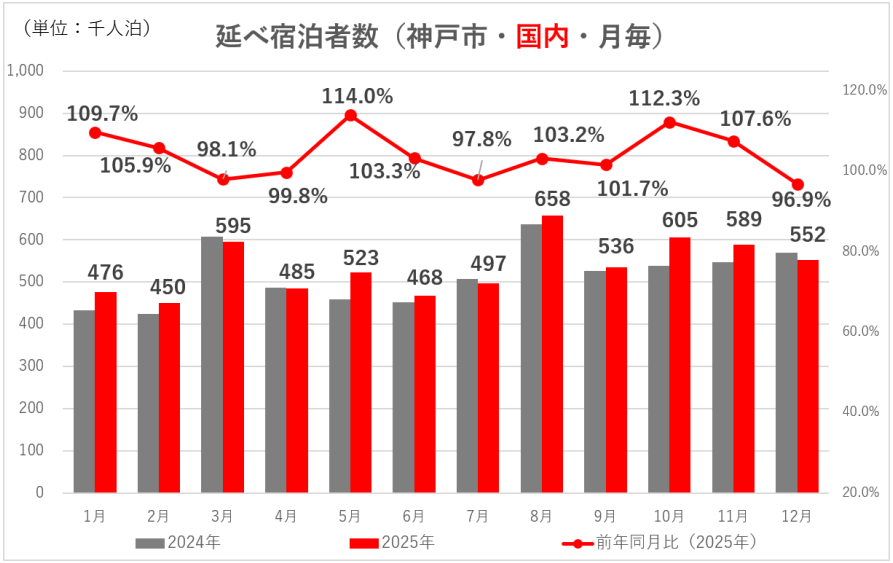
2025年　神戸市延べ宿泊者数【確定値】

神戸

神戸観光局

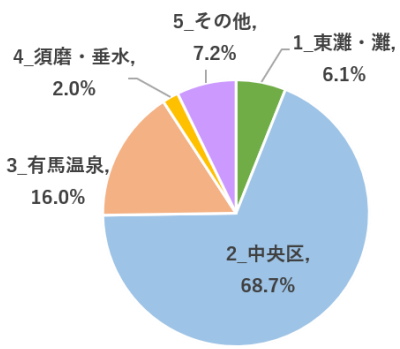
・ 2025年1～12月　神戸市全体（国内・インバウンド別）　拡大推計値・確定

【国内】



1 施設あたり平均泊数：1.25泊 ※ 2024年：1.27泊

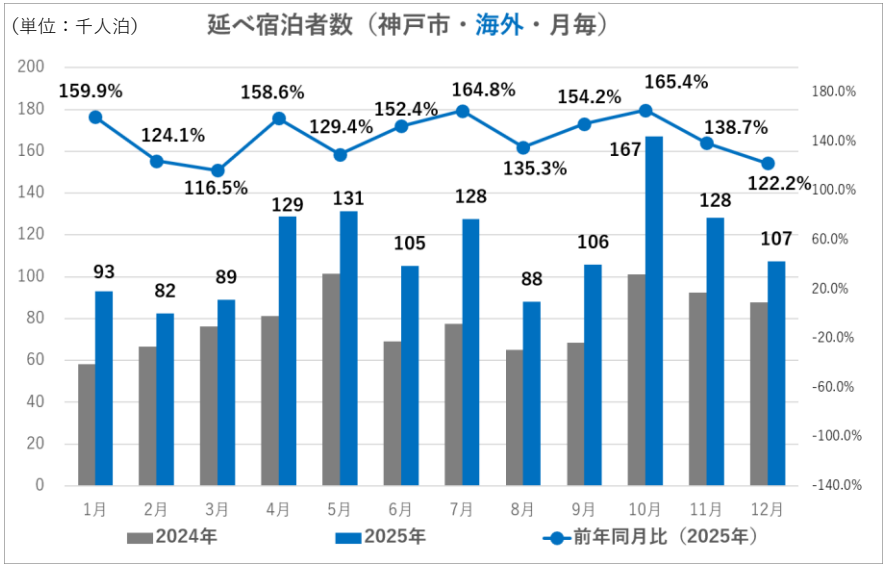
エリア別人泊数シェア（国内）



・国内は前年を上回る月が多く、**年計で103.9%**と好調に推移。
・この要因としては、市内宿泊施設からは「大阪・関西万博に伴う団体需要やGLION ARENA KOBEをはじめとするイベント来場者の増加が見られる」との報告があり、特に遠方からの宿泊者の増加が寄与したものと考えられる。
・また5月は、2024年のパラ陸上大会の影響による反動もあり、前年比で大きく増加した。

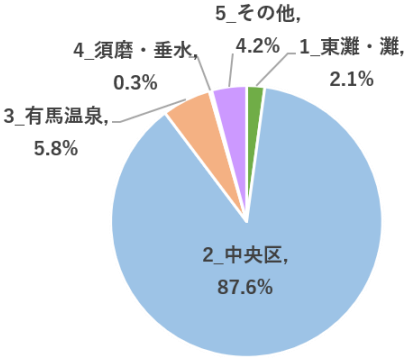
上線グラフ出典：
2024～2025年　観光庁「宿泊旅行統計調査」令和6～7年確定値
調査個票を基に神戸観光局で拡大推計値を独自試算

【インバウンド】



1 施設あたり平均泊数：1.56泊 ※ 2024年： 1.48泊

エリア別人泊数シェア（外国人）



・神戸空港の国際化が開始された4月以降、**外国人延べ宿泊者数は前年比で平均約1.5倍の高い伸びを示した。**
・これを背景にインバウンド比率も大きく上昇し、**前年の13.2%から17.4%まで拡大している。**
・特に10月は、神戸空港の国際化により、東アジアの連休需要が押し上げられ、単月で16.7万人泊を記録した。

下円グラフ出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和7年1月～12月　各月確定値調査個票より分析

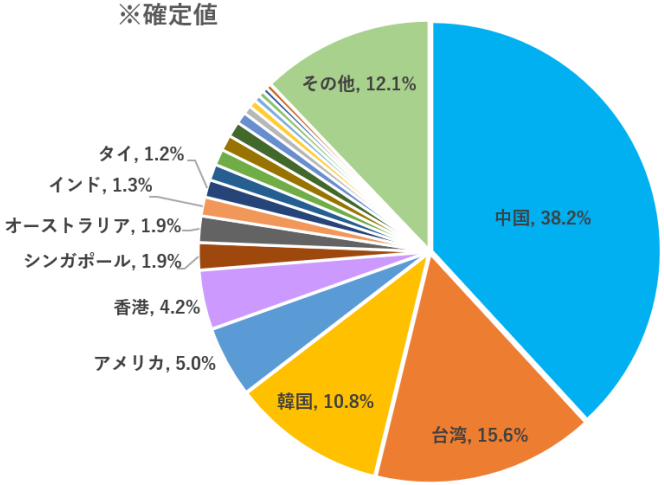
2025年　神戸市延べ宿泊者数【確定値】

神戸

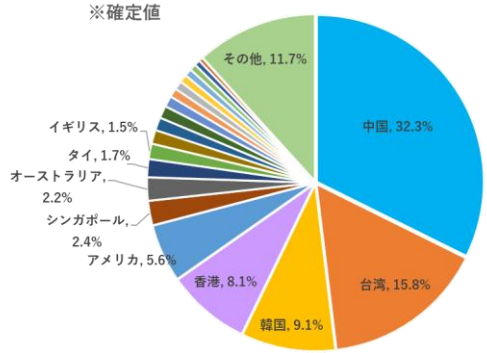
・ 2025年1～12月　神戸市全体　拡大推計値・確定

【国籍別分析】

神戸市（全体）　外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア（2025年1～12月）
※確定値

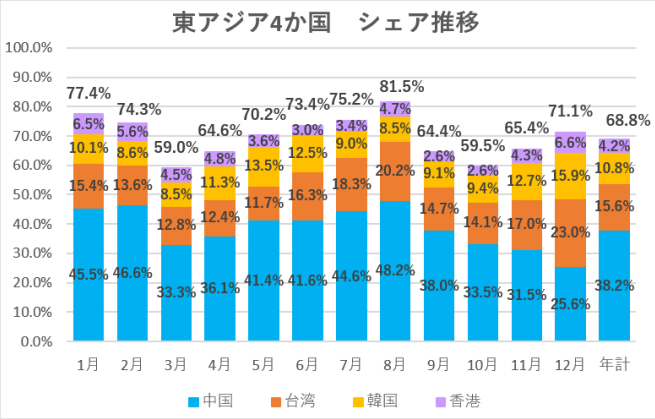


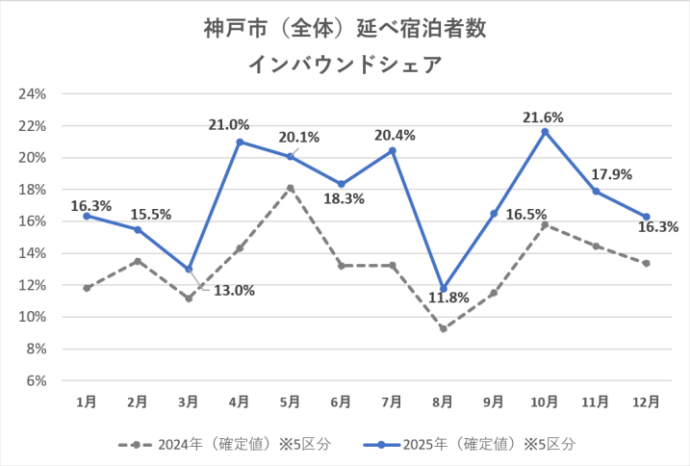
神戸市（全体）　外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア（2024年）
※確定値



順位	国	1～12月
1	中国	38.2%
2	台湾	15.6%
3	韓国	10.8%
4	アメリカ	5.0%
5	香港	4.2%
6	シンガポール	1.9%
7	オーストラリア	1.9%
8	インド	1.3%
9	タイ	1.2%
10	イギリス	1.1%
11	ドイツ	1.1%
12	フランス	1.1%
13	カナダ	1.1%
14	マレーシア	0.8%
15	フィリピン	0.6%
16	スペイン	0.5%
17	インドネシア	0.4%
18	イタリア	0.4%
19	ロシア	0.3%
20	ベトナム	0.3%
21	その他	12.1%

【インバウンド比率推移】





桜鑑賞や紅葉鑑賞等により欧米豪が増える時期には東アジアのシェア率が低下するものの、年間を通してインバウンド全体の約68.8%が、東アジアとなった。

出典：【神戸市】
2024～2025年　観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和6～7年確定値調査個票より分析